

平成24年3月 東京地区百貨店売上高概況

平成24年4月16日

I. 概況

1. 売上高総額	1,306億円余
2. 前年同月比	26.7% (3か月ぶりプラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭35.8%(88.3%) : 非店頭-16.2%(11.7%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成24年2月対比±0店)
5. 総店舗面積	915,720㎡ (前年同月比:-2.3%)
6. 総従業員数	18,654人 (前年同月比:-8.4%)
7. 3か月移動平均値	8-10月 -2.8%、9-11月 -2.8%、10-12月 -1.4%、 11-1月 -1.7%、12-2月 -1.3%、1-3月 6.1%

[参考] 平成23年3月の売上高増減率は-21.5% (店舗数調整後)

【3月売上の特徴】

- (1) 昨年は震災の影響で、都内各店共に臨時休業や営業時間短縮などを実施したが、今年はその反動で入店客数が軒並み30%~40%増となった。反動要因のほかにも被災地支援イベントなど趣向を凝らした催事が積極展開され店頭は賑わいを見せた。
- (2) 東京地区では高額品の伸びが特に目立つが、高級時計を含む美術・宝飾・貴金属が5割増(前年比で+49.1%、前々年比でも+0.9%)となった他、輸入雑貨や高額旅行などもよく動いた。
- (3) 中旬までの低温と雨がちな天候の影響で春物商材が苦戦した一方、マフラー、ブーツ、スプリングコート、雨傘など防寒アイテムやレイングッズが好調に推移した。
- (4) 昨年は動きのなかった新生活需要(卒業・入学、新社会人)が盛り上がり、婦人・紳士共に対象商材となるスーツ、鞆、靴、革小物などが好調であった。
- (5) 4月中盤までの商況は、遅れていた春物衣料の動きが本格化したこともあって、都内ほぼ全店で前年実績をクリアしており、二桁増の店も多くある。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比-1.2日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
①増加した: 20店、②変化なし: 1店、③減少した: 0店、④不明: 0店
- (3) 3月歳時記(ひな祭り、彼岸、ホワイトデー、卒業・入学、新社会人)の売上(同上)
①増加した: 9店、②変化なし: 1店、③減少した: 1店、④不明: 10店
- (4) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)
①増加する: 11店、②変化なし: 7店、③減少する: 1店、④不明: 2店

東京地区百貨店 売上高速報 2012年03月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
総 額	130,625,296	100.0	26.7
紳士服・洋品	9,793,044	7.5	46.5
婦人服・洋品	27,369,384	21.0	47.7
子供服・洋品	5,377,646	4.1	17.3
その他衣料品	2,447,805	1.9	-12.1
衣 料 品	44,987,879	34.4	38.1
身のまわり品	17,282,423	13.2	39.6
化粧品	6,979,187	5.3	22.2
美術・宝飾・貴金属	6,750,422	5.2	49.1
その他雑貨	6,809,752	5.2	6.0
雑 貨	20,539,361	15.7	23.3
家 具	2,108,317	1.6	-28.3
家 電	1,072,510	0.8	25.2
その他家庭用品	4,967,526	3.8	22.9
家 庭 用 品	8,148,353	6.2	4.0
生 鮮 食 品	4,747,361	3.6	11.4
菓 子	10,393,497	8.0	33.0
惣 菜	6,542,587	5.0	21.7
その他食料品	8,748,580	6.7	6.0
食 料 品	30,432,025	23.3	18.4
食 堂 喫 茶	3,343,689	2.6	53.9
サ ー ビ ス	2,303,139	1.8	7.2
そ の 他	3,588,427	2.7	-1.5

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

商 品 券	4,205,311 千円	-47.5
従 業 員 数	18,654 人	-8.4
店 舗 面 積	915,720 m ²	-2.3

営 業 日 数	31.0 日	前年	29.8 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、全国同様、衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品、食料品の全品目が49か月ぶりのプラス、雑貨と食料品も2か月連続のプラスとなった。その他の品目は、その他衣料品と家具がマイナスしたが、一桁プラスはその他雑貨とその他食料品で、その他の品目はすべて二桁のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	26.7	—	3か月ぶりプラス
紳士服・洋品	46.5	3.0	6か月連続プラス
婦人服・洋品	47.7	8.6	3か月ぶりプラス
子供服・洋品	17.3	0.8	2か月ぶりプラス
その他衣料品	-12.1	-0.3	47か月連続マイナス
衣料品	38.1	12.0	3か月ぶりプラス
身のまわり品	39.6	4.8	5か月ぶりプラス
化粧品	22.2	1.2	2か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	49.1	2.2	2か月連続プラス*
その他雑貨	6.0	0.4	7か月ぶりプラス*
雑貨	23.3	3.8	2か月連続プラス
家具	-28.3	-0.8	12か月連続マイナス
家電	25.2	0.2	2か月連続プラス
その他家庭用品	22.9	0.9	3か月ぶりプラス
家庭用品	4.0	0.3	4か月ぶりプラス
生鮮食品	11.4	0.5	3か月連続プラス*
菓子	33.0	2.5	2か月連続プラス*
惣菜	21.7	1.1	8か月連続プラス*
その他食料品	6.0	0.5	14か月ぶりプラス*
食料品	18.4	4.6	2か月連続プラス
食堂喫茶	53.9	1.1	7か月ぶりプラス
サービス	7.2	0.2	2か月連続プラス
その他	-1.5	-0.1	9か月連続マイナス
商品券	-47.5	-3.7	11か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>